

VDT画面デザインのアクセシビリティに関する研究

研究分野: デザイン学、人間工学

キーワード: 色彩情報、アクセシビリティ、ユーザビリティ、VDT、HCD(人間中心設計)

貢献できるSDGsの区分:



情報システム学部 情報システム学科 教授 片山 徹也

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/katayama/>

研究概要

幅広い分野でデジタル化が進む高度情報社会において、コンピュータやスマートフォン等のディスプレイや公共空間に設置されたタッチパネル等を介して提供されるWebサイト等の情報コンテンツにおいて、誰もが快適に利用できる画面デザインは重要である。本研究では、VDT (Visual Display Terminals) の画面デザインを構成する諸要素に着目し、デザイン学的視座と人間工学的視座において、ユーザビリティやアクセシビリティの高いユーザインタフェースを提供するための画面表示や色彩設計を明らかにすることを目的とする。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①VDT画面デザインにおける諸要素がユーザビリティやアクセシビリティに及ぼす影響を明らかにすることで、タッチパネル等のディスプレイを有する製品を介して提供されるコンテンツの画面設計において誰もが快適に操作できるユーザインタフェース、適切な文字表示・色彩デザインへ適用できる。
- ②誰もが快適に操作できるデジタルコンテンツの画面設計のための新しい指針及びガイドライン策定のための基礎資料となる。

外部との連携実績等

外部資金実績

科研費基盤(C)(研究代表者)

- ・公共空間におけるタッチパネル画面のユーザビリティを高める配色パターンの開発(2019-2023)
- ・タブレット画面の文字色と背景色の色彩がアクセシビリティと生理心理反応に及ぼす影響(2016-2020)
- ・有彩色によるVDT画面が作業効率と生理的・心理的反応に及ぼす影響(2012-2015)

外部委員等

ながさきデザイン会議委員(2015-2021)、長崎市景観審議会委員、佐世保市景観審議会委員、大村市都市景観デザイン専門家会議委員、長崎県内就職の魅力発信パンフレット等制作業務提携の公募型プロポーザルに係る審査委員(2019)、長崎県美しい景観形成アドバイザー

VDT画面デザインがアクセシビリティに及ぼす影響を調査

